

平成 29 年度 入学式式辞



皆さん、学部・大学院・特別専攻科へのご入学おめでとうございます。ご来賓の本学後援会の原会長並びに副会長の皆様、および列席の本学理事・副学長、学部長・研究科長とともに心からお祝いしたいと思います。

今年度は、学部として、教育学部173名、経済学部326名、システム工学部310名、観光学部127名、全学で3年次編入生31名が入学されました。大学院として、教育学研究科修士課程40名、経済学研究科修士課程35名、システム工学研究科博士前期課程153名、博士後期課程10名、観光学研究科博士前期課程11名、博士後期課程9名、特別専攻科として、特別支援教育特別専攻科9名が入学されました。

皆さん、難関の入学試験をパスされ、晴れ晴れとした気持ちで入学されたことでしょう。また、これまで皆さんを支えてこられたご参列のご家族の皆様も、安堵と期待であふれていらっしゃると思います。皆さんの気持ちに応えられますよう、和歌山大学は、より学びやすい教育環境を提供して参ります。

さて、国立大学が法人化され、今年で14年目となりますが、和歌山大学は、特色ある教育研究を推進するため、日々改革を続け、学部や大学院の機能を強化してまいりました。教育学部は、総合教育課程を教職課程に一本化し、また、特色ある取り組みとして、教育実践による地域活性化を進めるため、小規模校活性化支援事業、小規模校実習などを実施しています。経済学部では、昨年度から従来の3学科を1学科に統合し、6つのプログラムの教育コースを設置して、卒業後に専門性をより発揮できるようにいたしました。システム工学部は、複合的な技術教育をより進めるため、専門分野・メジャーを2つ選択する教育課程を設置し、また、研究面でも多くの特色ある研究を進めています。例えば、昨年10月にスイスにてサイバスロンという国際大会が開催されましたが、これは、障がい者がロボット工学や電子工学を駆使した義手・義足・電動車いすなどの補装具の力を借りて競技を行う大会で、オリンピック・パラリンピックに次ぐ、障がい者のためのスポーツ大会とも言われていますが、それと同時に「補装具」の最先端技術とその実用性を競う大会でもあり、この大会の電動車椅子競技に、本学システム工学部の中嶋教授と学生が参戦し、世界第4位となりました。観光学部は、昨年度から従来の2学科を1学科に統合し、英語だけで専門科目を学べるグローバルプログラムを設置しました。そして、国連世界観光機関(UNWTO)から、日本で初の「TedQual 認証(観光教育認証)」を取得いたしました。本学の観光学における教育内容と教授法が国際的に認められた証です。



また、和歌山大学は、「地域と融合する大学」を目指しています。これは、和歌山県内をキャンパスと考え、教室だけでなく、実社会をフィールドとして学ぶことを目指すものです。また、和歌山大学は、文部科学省の「地(知)の拠点大

学による地方創生事業」に採択され、その事業を推進しています。この事業で

は、皆さんが産業・自然・人を通して和歌山の良さを学ぶ教育プログラム「わかやま未来学副専攻」を導入しています。

和歌山をフィールドとして学び、和歌山をはじめ広く国内外で活躍する自信をつけてもらいたいと考えています。通常の学習課程とは別に、是非「わかやま未来学副専攻」を履修してください。

大学での学びは、自ら主体的に学ぶことが大切です。色々な分野の知識を学ぶことで、変化する社会に対応できる力を身に付けてもらいたいと思います。世界中の国々は、グローバル化で、人やものの移動も自由となり、経済も連動しています。一方、自国の利益を最優先する保護主義への揺り戻しも見られます。少し世界のルールが変わるかもしれませんが、ルールが変わっても柔軟に対応できる知識と問題解決力を学んでもらいたいと思います。

今年度から、学部に入學される学生さんには、パソコンを必携化してもらうことになりました。教育の情報システム化で、講義の形も変わっていくことになります。また、社会では、情報機器を使いこなすことや数理情報を解析して利用できる能力が必要とされています。自分自身でも新しい学びを開拓してください。



また、大学では、先人の知識を学ぶだけでなく、自ら新たな知識を創造することが重要です。

学部教育では、基礎的な専門教育の後、卒業研究を行ってまいります。大学で研究するということは、未知なるものを探求して新しい事象や知識を発見すること、また、様々な情報から普遍的な規則を創造することです。研究を通じて、社会の発展、進化に貢献することができます。これは、理科系の技術にとどまらず、新しい社会の仕組みや国の関係などの新しいルールを作ることにもつながります。本日入学された皆さんの中から、世界に大きな貢献ができる人がたくさん出ることを期待しております。

充実した大学生活が送れますように、初心を忘れず頑張ってくださいと思います。

心からの祝福をもって、ご入学の歓迎の挨拶といたします。

2017年4月5日

和歌山大学長 瀧 寛和

